

# 支えあう人々、いのちへの共感



豊岡市長 中貝宗治

# 年 あいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年は、大災害とともに記憶に残る年となりました。圧倒的な自然の脅威。死者・行方不明者が2万人に達するかという、圧倒的な「量」の恐ろしさ。

その恐ろしい事態の中で私たちが改めて見出したものもありました。それは、「支えあう人々」です。

私たちが台風23号の経験を持っています。あの災害経験は、油断、機能不全、支えあう人々、の三つに要約することができます。そして「支えあう人々」こそが、私たちの希望であり、立ち上がっていく原動力でした。

しかし、考えてみると、支えあいというのは、なにも災害時だけのものではありません。私たちの日常はさまざまな支えあいで成り立っています。現在のみならず、過去の努力にだって支えられています。そのことに気付くと、私たちは他者への感謝とコミュニティの一員としての責任に思いが至るはずで、行政やさまざまな社会システムも、その支えあいを組織化し、体系化したもの、ということが出来るかもしれません。今年一年、そのような思いをしっかりと持ちながら、市政運営に当たってまいります。

大災害の中で見えたもう一つのもの。それは、いのちへの共感です。

亡くなったのは、「たくさんの」いのちでは

ありません。たくさんの「一人ひとりの」いのちでした。被災地に行き、残された方々と会うと、そのことは容易に分かります。

昨年の地震・津波は、豊岡の私たちに起きたことではありません。大災害の過酷な現実には、私たちが今、向き合っているわけではありません。しかし、被災地の人々のいのちに思いを寄せなかつた人は、おそらくいないだろうと思います。私たちは、家族や大切な人を失った経験、苦しみ悲しむ人を間近で見た経験などに照らすことによって、被災地の人々に深く思いを寄せ、つながっていくことができます。

翻ひるがえって豊岡の私たち。多くの方が同じ気持ちだと思えますが、家族がいて、友人がいて、地域の人たちがいて、仕事や学校があって、道は続き、田畑がある、その何の変哲もない日常の風景がいとおしくて仕方がない、昨年以來そんな思いをとりわけ強く持つようになりました。私たちのいのちは、その日常の中にあります。それを守る責任を私は負っていますのだ、という思いも一層強くなりました。

他者のいのちへ思いを寄せ、自分のいのちに思いを寄せる。その繰り返しの中から「いのちへの共感」が生まれてくるのだと思います。この新しい年、「いのちへの共感」に満たまちづくりをさらに進めてまいります。

# 新 年頭のご



豊岡市議会議長 森田 健治

## 豊岡の将来を見据えて

新しい年を迎え、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。

昨年は、東日本大震災とこれに起因する原発事故に見舞われ、私たちの国は戦後最大の国難に直面いたしました。

国の事故対応が迷走する中で、豊岡市は23号台風の経験を生かして、宮城県南三陸町などにいち早く本市独自で職員派遣を行うなど、地方自治体との連携・協力によって被災地支援活動を続け、その派遣延べ人員は千人を上回りました。被災地の一日も早い復旧・復興を心から念じています。

このように災害続きの一年であったと同時に、一時戦後最高値となった円高は今も続き、長期化する事態となっています。国内産業の空洞化など、日本経済が深刻な打撃を受けていることを心配します。新しい年が、先行き明るい希望の光が感じられる年となるよう祈念するのみです。

さて、現在市議会では、市総合計画後期基本計画の策定について特別委員会を設置し審議を行っています。平成19年に策定した基本構想の中で、私たちは「コウノトリをシンボルとした豊かな自然・環境の中で、安全で安らぎに満ちた元気で賑わいがあふれた夢と希望のまち」を目指してまちづくりを進めることとし、取り組んできました。この前期基本計画が23年度で終了するため、今日までの取

組みを検証し、新たな戦略と目標項目ごとに5年後の目標数値を定めた後期基本計画を策定して、推進しようとするものです。

わが国経済の景気低迷が続く中で、環境と経済の共鳴を目指した本市の方向性は正しいと考えますので、「豊岡エコバレー」「大交流」の実現に大きな期待もっています。この基本計画が他の多くの諸計画ともども画餅とならないよう今後慎重に審議を進めます。

昨年から本格的な工事に着手された新庁舎建設事業は、現本庁舎の曳家工事がこの2月に予定されています。この現本庁舎曳家のあと新庁舎の工事に入ります。

本年度は3月末に市の玄関口となる豊岡駅前広場が一新されます。また、来年3月末には新しい豊岡市のシンボルとなる庁舎が完成する予定です。

豊岡市にとってこの記念すべき年が災害のない平穏な年となるよう願っています。

震災復興に要する資金によって、国の財政状況は一段と悪化すると思いますが、これに伴って地方は国の補助金に頼った行政運営が難しくなりますので、議会による行政のチェック機能は一層重要になってきます。

私たちは議会の果たすべき役割を十分認識し、豊岡市の発展と市民福祉向上のために努力してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

〔写真：山陰海岸ジオパーク 捨て鼻灯台付近(田結)〕